

【問い合わせ先】

島根県病害虫防除所 [担当：奈良井・澤村]

TEL：0853-22-6772

FAX：0853-24-3342

令和2年度 病害虫発生予察情報 注意報第4号

令和2年9月8日
島 根 県

ダイズやキャベツなどのアブラナ科野菜、ソバなどでハスモンヨトウ（図1）による被害が多発生することが予想されますので注意報を発表します。現地では発生状況の把握に努め、適切な防除対策を講じてください。

- 1 病害虫名 ハスモンヨトウ
- 2 発生地域 県内全域
- 3 作 物 ダイズ、アブラナ科野菜（キャベツなど）、ソバなど
- 4 発生時期 9月上中旬～
- 5 発 生 量 多い
- 6 注意報発表の根拠
 - 1) ダイズ白変葉（図2：幼虫の初期被害）の初発生は平年より早く、7月下旬に県西部で確認された。8月下旬の調査では県内7割のほ場で白変葉が確認され、1a当たり白変葉か所数は1.03か所（平年0.40か所）で平年に比べて多い（表1）。
 - 2) 8月下旬の夏秋キャベツでの発生は平年に比べて発生ほ場率、発生株率とも多い（表1）。
 - 3) 8月第1半月以降のフェロモントラップにおける累積誘殺数は出雲市では平年並みで、益田市ではやや多い（図3）。
 - 4) 向こう1か月の気温は平年に比べて高い確率が80%で、本種の発生にやや助長的である。
- 7 防除上参考となる事項
 - 1) 本種は上記の作物の他、キクやトルコギキョウ等の花き類やネギ、タマネギ、トマト、アスパラガス、ヤマイモ、ブドウ、カキ、ナシなど多くの作物を加害する。
 - 2) 施設栽培ではハウスサイド、出入り口、天窓等の開口部に防虫ネットを被覆するなど、成虫の侵入防止に努める。また、本種は卵塊で産卵するため、白変葉等の初期被害を葉ごと切り取り、処分すると寄生密度低減に有効である。
 - 3) 老齢幼虫には薬剤の効果が劣るので若齢幼虫期に重点をおいて防除する。
 - 4) 薬剤の使用にあたっては、本県農作物病害虫雑草防除指針 (<https://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/seisan/byougaityuu/bouzyosisin.html>) を遵守する。
 - 5) 最新の農薬登録情報は、独立行政法人農林水産消費安全技術センターHP (http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm) で確認できる。

8 資料



図1 キャベツ葉上のハスモンヨトウ幼虫(左)と卵塊(右上)、成虫(右下)



図2 ダイズの白変葉(幼虫の初期被害)

表1 ハスモンヨトウの発生状況

ダイズ 調査時期	発生ほ場率 (%)		1 a 当たり白変葉か所数	
	本年	平年	本年	平年
7月下旬	7.7	1.0	0.08	0.01
8月中旬	39.5	—	0.48	—
8月下旬	69.7	21.1	1.03	0.40
夏秋キャベツ 調査時期	発生ほ場率 (%)		発生株率 (%)	
	本年	平年	本年	平年
8月下旬	70.0	10.9	11.0	1.2

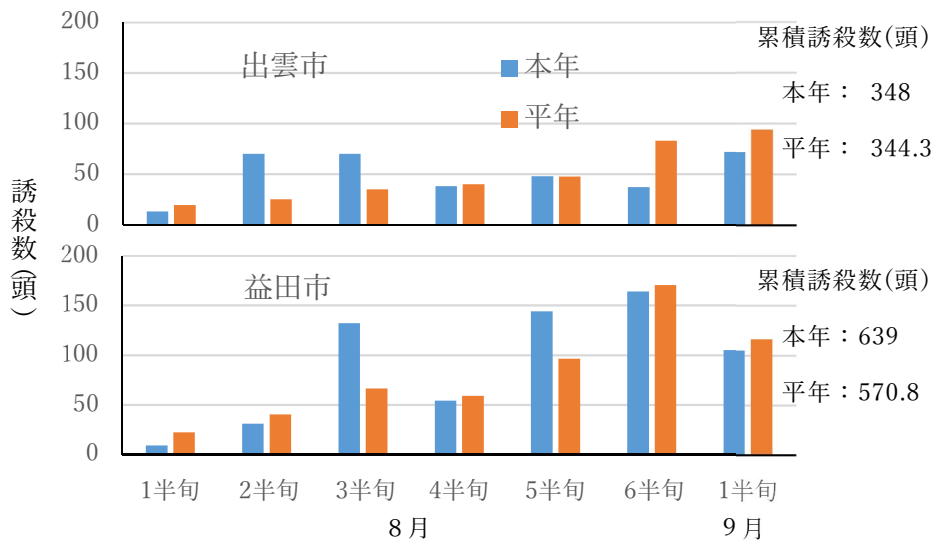


図3 フェロモントラップによるハスモンヨトウ雄成虫の誘殺数